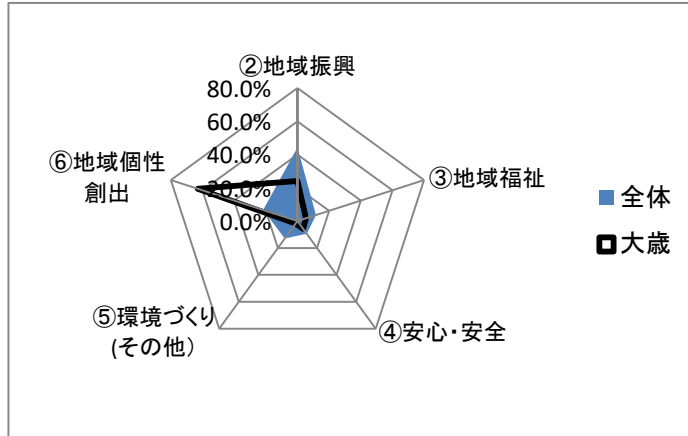


大歳まちづくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和6年度)

■地域の情報

地域人口	13,933人	自治会数	29
世帯数	7,021世帯	自治会加入率	55.2%

※数値は、令和7年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	11,670,000 円
交付金決算額	10,805,085 円
その他収入	9,392 円
交付金決算額／配分額	92.6%

各分野の決算

①協議会運営	4,684,152 円
②地域振興	868,832 円
③地域福祉	193,102 円
④安心・安全	207,130 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,525,676 円
⑤環境づくり(その他)	63,029 円
⑥地域個性創出	2,272,556 円
決算総額	10,814,477 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

基本方針「みんなでつくろう、明るく住みよいおおとしを」テーマに地域づくりを展開する。

■総括

基本方針に基づき、各種事業を展開している。コロナ禍で活動が停滞したまま現在に至る事業も見られたが、各部会や運営委員が連携し、概ね目標は達成できた。ただ、最近では、各関係団体の構成員の高齢化や若年世帯の自治会離れという問題が顕在化してきた。後継者の育成や地域の住民が生き生きと生活できる環境を整備していく必要があると思われる。また、大歳地区にとっては避けて通れない水害対策についても「自主防災」という意識の醸成が図られつつあり、引き続き啓発活動を推進する。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長1名、事務員2名の事務局人件費及び事務費
② 地域振興	各自治会の活性化、地域情報の収集と発信、あいさつ運動の推進
③ 地域福祉	高齢者支援体制の充実
④ 安心・安全	生活安全(防犯)対策の充実、交通安全対策の充実、災害安全対策の充実、見守り体制の充実
⑤ 環境づくり	環境美化活動の推進、法定外公共物等の整備
⑥ 地域個性創出	自治会内の交流促進、地域内の交流促進、住民総参加による地域の活性化、ふるさと大歳の伝承、花いっぱいの大歳づくり、地域資源の活用、交流列車おおとし(大歳駅)の活用

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	自治会内の交流促進	決算額	876,207円
	目的	自治会内のふれあい事業を実施することにより地域の交流を深める。		
	実施内容	①1自治会1事業、②大歳地区一斉清掃、③三世代交流夏休みラジオ体操の実施		
	実施時期	①通年、②10月第3日曜日(10月20日)③夏休み		
	参加人数	①15自治会(823人)、②28自治会(2,534人)、③12自治会(5,441人)		
	成果	コロナが5類に移行したことで、活動再開自治会も増えてきており、自治会内での交流が再び活発化になってきている。		
	評価	コロナが5類に移行したことにより、1自治会1事業の開催及び地区内の一斉清掃、夏休みラジオ体操を実施する自治会数が少しずつではあるが元に戻ってきた。		
	今後に向けて	関連事業の未実施自治会に対し、自治会長会等で説明し、取り組みを促す。		
②	事業名	ふるさと大歳の伝承	決算額	64,913円
	目的	地域の担い手を発掘・育成するため、課題解決に向けてイベント等を実施する子どもたちを支援する。		
	実施内容	子どもが企画・プレゼンし、審査を受ける子どもイベントサポート事業を実施。		
	実施時期	審査8月。モルック作り10月。報告会12月。		
	参加人数	モルック作り17人。モルック大会45人。		
	成果	子ども達の企画力やプレゼン力が身に付いた。また、モノづくりの楽しさを実感した。		
	評価	地域の熟練者の存在を知ることができた。		
	今後に向けて	継続的に、自分たちで考え実行できる人材を養成する。		
③	事業名	地域資源の活用	決算額	49,983円
	目的	金山登山道の維持・管理		
	実施内容	金山を貴重な地域資源の一つとして位置づけ、登山道の開拓・整備を行い、健康増進や心身のリフレッシュに繋げた。		
	実施時期	通年。		
	参加人数	金山もりの会。登山者。		
	成果	令和6年度の鴻南中学校の卒業生が卒業登山を実施するなど、着実に利用者が増えており、利用者は地域の魅力を実感している。		
	評価	令和6年度の鴻南中学校の卒業生が卒業登山を実施するなど、着実に利用者が増えており、利用者は地域の魅力を実感している。		
	今後に向けて	登山がしやすいように、休憩所の整備や歩きやすい歩道として整備する。		